

28 九州工業大学

Kyushu Institute of Technology

KIT-formula

KIT-formula

<http://formula.mech.kyutech.ac.jp/~formula/kitformula/index.html>

過去最高の総合成績 8 位獲得 第 13 回大会総括



今回の総合結果・部門賞

●総合 8 位 ●日本自動車工業会会長賞

Profile チーム紹介・今までの活動

私たち KIT-formula は、2004 年の発足より全日本学生フォーミュラ大会に 11 年連続での出場となりました。今年度は、「All for Speed 扱いやすさと高性能の追求」をコンセプトとして設計・製作を行ない、すべての動的審査を完了し、コンスタントに成績を収めることで前回達成できなかった総合 10 位以内をめざしました。

Team-member チームメンバー

神野 佑也 (CP)

河部 徹 (FA)、森 直樹 (FA)
永井 祐希、松田 淳志、木村 哦竜、中川 朋哉、原口 貴大、松井 政憲、後藤 由希考、大野 史希、小塚 悟史、宮崎 光徳、西行 響、森井 勇作、坂田 匠成、吾郷 愛由、稲津 里香、岩淵 大允、園田 慶太、曲淵 公紀、上野 友基、大友 晋輔、中尾 薫平、中野 佑里香、村上 祐尉、中根 寛史、山口 駿介、浦野 夢希、小西 剛史、柴田 将志、筒井 翔太郎、中村 誠、細木 大祐、室津 遼、阿部 智文、池田 周平、林田 弦樹

Presentation

プレゼンテーション

「上位入賞を果たすマシン」というところをスタート地点として、2015 年度にどのような車両にするべきかをチーム全体で話し合いました。大会で上位入賞するためには、全審査で高得点を獲得することが必要であり、すべての動的審査に出場し、コンスタントな成績を収めることが重要です。今年度の大会に臨むドライバーは、大会での走行経験が少ないため、扱いやすい車両が必要であると考えました。

しかし、扱いやすいだけではレースで勝つ車両とは言えず、動的審査で成績を残すために「旋回性能」「加減速性能」「整備性」「信頼性」といった高い性能が必要となります。マシンの扱いやすさ、高性能を追求していくことが大会での勝利に繋がるのではないかと私たちは考えます。しかし、「扱いやすさ」と「高性能であること」といった、トレードオフの関係にある事柄の両立は難しいことです。どちらか一方を追求するのではなく、ひとつの車両として評価したときに上位をとる車両を完成させることをめざし、マシンコンセプトを「All for Speed ~扱いやすさと高性能の追求～」として、1 年間活動を行ないました。

Participation report

参戦レポート

今年度は、前回大会であと一步届かなかった総合 10 位以内の達成をめざし、1 年間活動を行ってきました。しかし、これまでチームを引っ張って下さった先輩たちの卒業など、新体制発足当初から不安要素もありました。事実、シェイクダウンの遅れや度重なるトラブル、それに伴う走行不足など昨年以上に多くの問題が起きりましたが、そういう状況であっても、メンバーは諦めることなく、何とかしようと行動してくれました。

最後まで決して順調な道のりではありませんでしたが、2 大会ぶりに全種目完走・完遂し、また静的審査においてはこれまでにない好成績を収めることができました。今回、目標としていたトップ 10 圏内である総合 8 位という結果を得られたのは、全員のこういった努力のおかげだと思います。またチーム運営に関しては、発足 2 年目となったマネージメント班を中心に行なってきました。ミーティングでの議題についての話し合いや走行会の企画・実施、担当者とのヒアリングなど、チーム運営に欠かせない役割を担いました。これらの働きが表に出ることは少ないですが、チームを導く上で必要不可欠なものばかりです。今後も継続して、チームを影から支えていきます。

最後になりましたが、今回私たちがこのような好成績を残せたのも、ひとえに弊チームにご支援・ご声援下さったスポンサーや大学 OB・OG、大学関係者の皆様のおかげです。次回大会においては、今年以上に良い成績を残せるようこれから 1 年間活動して参りますので、今後ともご支援・ご声援の程よろしくお祈りいたします。

Sponsors スポンサーリスト

IDAJ、旭化成建材、アルトナー、アールエーシー、石原ラジエーター工業所、エア・ガシズ北九州、NTN、エフ・シー・シー、オフィスケイ、川崎重工業、キノコニエンタープライズ、九州工業大学機械実習工場、協和工業株式会社、神戸製鋼所、サイアン、佐々木工業、機業鉄工所、住友電装、大成プラス、高田工業所、THK、デンソー、トレイルボックス、日本ヴァイアイグレイド、深井製作所、富士精密、プライムガレージ、プロト、TONE 株式会社、マッハ FC、ミスミ、ミネベア、社団法人明専会、やまと興業、ヤマナカコーン、UACJ、レーシングサービスフタナベ、和光ケミカル

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/28.html>